

港区在宅医療・介護連携支援センターの活動報告

5月17日に、港区在宅医療・介護連携支援センターを訪問し、センター職員の市橋さんに、開所した4月からの活動内容等をお聞きしました。

インタビュー内容

○ 4月からセンターがスタートしましたが、これまで特に力を入れてきたことは何ですか？

- ・医療・介護連携の制度説明を区役所、病院などを中心に行ってきました。
- ・まずは、地域の医療・介護関係機関に本センターの役割と今後の在宅医療の必要性を説明していくことが、大事だと考えています。

○ 今、課題として感じていることは、何ですか？

- ・もっと、在宅医療を行っている病院・診療所が増えていただけるといいと思います。
- ・在宅医療を支える訪問看護や医療ソーシャルワーカー、理学療法士などの専門職のネットワークづくりが今後の課題です。

○ 今後、頑張りたいと考えていることは何ですか？

- ・港区内の病院・診療所を地道にまわり、現状を勉強させてもらって、在宅医療の必要性をお伝えしていきたいですね。
- ・訪問看護や医療ソーシャルワーカーなど、在宅医療を支える様々な職種の皆さんが連携できるように、各機関と調整していきたいです。

(参考) 4月活動実績

相談実績		14件
相談内容	在宅医療・介護支援システムに関すること	13件
	通院・通所援助に関すること	1件